

文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」 冬の美術展—藤田嗣治 パリ「里帰り」展、奈良仏像展のご案内

2018年7月よりパリを中心にフランスで開催中の日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」では、縄文の美から最新のメディア・アートやアニメ・マンガ・ゲームまで多彩な展覧会を開催し、好評を博してきました。本年2月にフィナーレを迎えますが、この冬も注目の「藤田嗣治：生涯の作品（1886-1968）」展と、「古都奈良の祈り」展を予定しています。

メディアの皆様におかれましては、この機会に是非貴媒体にて本展覧会をご紹介しますよう、何卒宜しく願いいたします。

■「藤田嗣治：生涯の作品（1886 - 1968）」展

～日仏芸術家・フジタのパリ「里帰り」展が ついに実現～

藤田嗣治は若くしてパリに渡り、エコール・ド・パリの芸術家として高い評価を得ました。藤田はその生涯で三度パリに暮らしましたが（1913-1931、1939-1940、1950-1968）、1950年に三度目の渡仏をしてからは、フランス国籍を取得、そしてカトリックに改宗し、二度と日本の地を踏むことはありませんでした。昨年、東京と京都で開催された「没後50年 藤田嗣治展」は、43万人の来場者を集め、藤田の人生、そしてその作品への関心が今も根強いことを明らかにしました。

本展は、生前から藤田が強く願っていたパリでの初めての回顧展です。波乱に満ちた画家の生涯をたどりながら、その人生の各時期における代表的な作品36点を紹介します。

フランスでは、藤田の1910-20年代の黄金時代の作品は広く知られていますが、本展では、これまで紹介される機会がほとんどなかった1930-40年代の「旅の時代」の作品にも光を当てます。この年代の作品は、「作戦記録画」も含め、ほとんどすべてがフランス初公開となります。

日本とフランスの美術館から厳選された作品を通し、その60年に及ぶ創造活動のエッセンスを紹介し、新たな視点から藤田の国際的評価を問う展覧会です。



《自画像》1929年 東京国立近代美術館蔵
©Fondation Foujita / ADAGP, Paris &
JASPAR, Tokyo, 2018 E3117



《猫》1940年 東京国立近代美術館蔵
©Fondation Foujita / ADAGP, Paris &
JASPAR, Tokyo, 2018 E3117

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



Japonismes 2018

- 会期：2019年1月16日(水)～2019年3月16日(土) (毎週日・月曜休館)
- 会場：パリ日本文化会館 (101 bis, quai Branly, パリ市15区)
- 主催：国際交流基金、京都国立近代美術館
- 特別協力：朝日新聞社、NHK
- 協力：全日本空輸株式会社
- キュレーター：
 - 林洋子 (美術史家、文化庁芸術文化調査官)
 - ソフィー・クレブス (パリ市立近代美術館チーフキュレーター)
- 実行委員：
 - 高階秀爾 (大原美術館館長)
 - 尾崎正明 (茨城県近代美術館館長) 他

■主な出品作品

「パリ風景」(1918)、「ジユイ布のある裸婦」(1922)、「舞踏会の前」(1925)、「自画像」(1929)「孫」(1938)、「猫」(1940)、「アツ島玉砕」(1943)、「カフェ」(1949)

■展覧会の見どころ

1. 生前から藤田が強く願っていたパリでの回顧展がついに実現。
2. 2018年に日本国内で43万人を動員した「没後50年 藤田嗣治展」が構成を変えてパリに登場。
3. 日仏共同企画による「日仏芸術家・フジタ」の個展は、「ジャポニスム 2018」の美術事業の掉尾を飾るに相応しい記念碑的な展覧会。
4. 藤田がパリを離れた1930-40年代の作品は、「作戦記録画」を含めパリではほぼすべて初公開。「知られざる」藤田の作品群が、パリの人々にどのように受け止められるか注目。

■関連イベントのお知らせ

会期中、下記の関連イベントを予定しています。詳細はパリ日本文化会館のホームページ(www.mcjp.fr)をご参照ください。

○オープニング記念シンポジウム

1月15日(火) 18:00～ 於 パリ日本文化会館
【登壇者】高階秀爾、尾崎正明、ソフィー・クレブス、林洋子

○映画『FOUJITA』(小栗康平監督) 上映

1月18日(金) 19:00～ 於 パリ日本文化会館
1月19日(土)～27日(日) 於 映画館 L'Arlequin (76 Rue de Rennes, パリ市6区)
※1月18日、19日の上映には小栗監督が登壇します。

○キュレーター ソフィー・クレブスによるガイドツアー 2月7日(木) 18:30～ 於 パリ日本文化会館

○講演会 2月14日(木) 18:00～ 於 パリ日本文化会館

【登壇者】ミカエル・リュケン(美術史家、フランス国立東洋言語文化学院[イナルコ]教授)

○パリ国際大学都市 日本館における藤田作品(「欧人日本へ到来の図」「馬の図」) 特別一般公開

2月23日(土) 10:00～18:00 <http://www.maisondujapon.org/foujita.html>

報道関係者からのお問い合わせ先：

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央 (070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

■「古都奈良の祈り」展

～奈良・興福寺の代表的仏像をパリで展示。
祈りの精神と美を紹介～

シルクロードの東の終着点として、日本文化の礎を築いた古都奈良。ギメ東洋美術館で開催される本展では、奈良の名刹・興福寺で大切に守り伝えられてきた至宝の中から、「木造地藏菩薩立像」（重要文化財）と、「木造金剛力士立像（阿形・吽形）」（国宝）が展示されます。普段は奈良を訪ねなければ体感できない、眼前の仏像から放たれる美しさや迫力、その精神性の一端をフランスの人々に伝える展覧会です。

- 会期：2019年1月23日（水）～2019年3月18日（月）
- 会場：ギメ東洋美術館（6, place d'Iéna, パリ市16区）
- 主催：奈良県、ギメ東洋美術館
- 共催：国際交流基金
- 特別協力：
興福寺、奈良国立博物館、東京国立博物館、日本経済新聞社
- 協力：日本航空



重要文化財 木造地藏菩薩立像
興福寺所蔵
写真提供：飛鳥園

■ルーブル美術館での「名和晃平 Throne」展 好評につき会期延長！

ルーブル美術館ピラミッド内で2018年7月から展示されている名和晃平氏によるインスタレーション作品「Throne」は、当初本年1月14日（月）で展示終了予定でしたが、好評のため、2月18日（月）まで会期延長されることになりました。

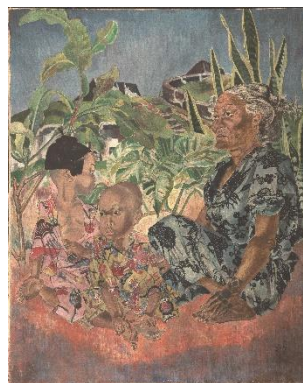
■広報用画像について

各展覧会にかかる広報用画像について、下記のとおりご提供します。希望画像の作品名ならびに掲載予定媒体名、記事概要（告知記事又は特集記事／文字数）、掲載予定時期を明記のうえ、下記担当者までご連絡ください。なお、「藤田嗣治：生涯の作品（1886-1968）」展の画像につきましては、著作権の都合上、事前確認が必要となります。画像使用に詳細な条件が定められているため、できるだけ時間に余裕を持ってお問い合わせください。また場合によっては、画像提供をお断りさせていただく場合がございます。

- 「藤田嗣治：生涯の作品（1886-1968）」展 ※1ページ目の「自画像」「猫」も広報用画像がございました。



「ジュイ布のある裸婦」（1922）
パリ市立近代美術館蔵
©Fondation Foujita / ADAGP,
Paris & JASPAR, Tokyo, 2018
E3117



「孫」（1938）
沖縄県立博物館・美術館蔵
©Fondation Foujita / ADAGP,
Paris & JASPAR, Tokyo, 2018
E3117



「カフェ」（1949）
ボンビドゥー・センター（フランス・パリ）蔵
©Fondation Foujita / ADAGP,
Paris & JASPAR, Tokyo, 2018
E3117

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

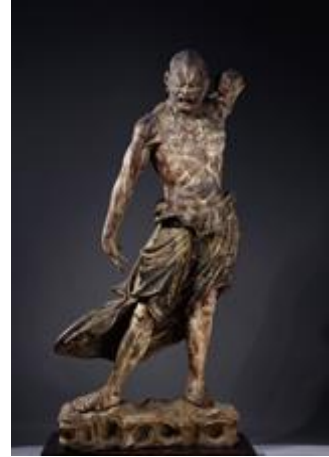
○「古都奈良の祈り」展



国宝 木造金剛力士立像（吽形）
興福寺所蔵
写真提供：飛鳥園



重要文化財 木造地藏菩薩立像
興福寺所蔵
写真提供：飛鳥園



国宝 木造金剛力士立像（阿形）
興福寺所蔵
写真提供：飛鳥園

※ご使用時の注意点とお願い

- ・写真をご使用の際は画像クレジットを記載ください。
- ・トリミング、文字載せ、画像の二次使用はご遠慮ください。
- ・使用の際は確認のため、記事校正を PDF 形式でお送りください。



THE NATIONAL MUSEUM
OF MODERN ART,
KYOTO



朝日新聞



NIKKEI



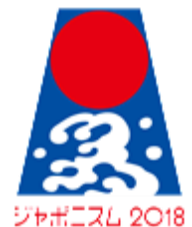
「ジャポニスム 2018：響きあう魂」とは

日仏友好160年にあたる2018年、両国政府間の合意に基づき、芸術の都フランス・パリを中心に、大規模な日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム2018：響きあう魂」を開催中。パリ内外の100近くの会場を舞台に、約8か月間に亘り、美術展、舞台公演、映画、その他食や工芸など日本人の日常生活により密着した文化まで含め、さまざまな日本の芸術と文化を、古典から現代まで幅広く紹介しています。会期を通じ、約70の公式企画を実施。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本文化の多様な魅力をパリに、またパリを通して世界に向けて伝えようとするものです。

会期：2018年7月～2019年2月

事務局：独立行政法人国際交流基金

公式ウェブサイト：<https://japonismes.org/>



報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp